

各府省庁、独法等及び重要インフラ事業者向けに発出した最近の主な注意喚起情報

内閣サイバーセキュリティセンター

Apache Struts2の脆弱性について【平成29年3月】

概要

Apache Struts2（Javaを利用したWebアプリケーション構築に広く利用されているフレームワーク）の脆弱性に関する注意喚起。

影響を受けるバージョン

■ Apache Struts 2.5 ～ 2.5.10 ■ Apache Struts 2.3.5 ～ 2.3.31

想定される脅威

Webサーバが細工されたHTTPリクエストを受信した場合、意図せぬプログラムが実行され、当該コンピュータに保存されているデータの改ざん、削除、漏えい等が発生する可能性。

WordPressの脆弱性について【平成29年2月】

概要

WordPress（オープンソースのコンテンツマネジメントシステム（CMS）で多くの世界シェアを占める）の脆弱性に関する注意喚起。

影響を受けるバージョン

■ WordPress 4.7.0/4.7.1

想定される脅威

Webサーバが細工されたHTTPリクエストを受信した場合、認証なしにWebサイトのコンテンツ（記事）が書き換えられる可能性。

BINDの脆弱性について【平成28年10月】

概要

BIND（DNSサーバとして広く使用されているソフトウェア）の脆弱性に関する注意喚起。

影響を受けるバージョン

■ BIND 9.10.0 ～ 9.10.4-P2 ■ BIND 9.9.0 ～ 9.9.9-P2

想定される脅威

BINDが稼働しているサーバにおいて、不正なリクエストを受信した場合、サービス不能（DoS）となる可能性。